

船舶事故調査報告書

平成28年6月16日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員 庄 司 邦 昭（部会長）
 委員 小須田 敏
 委員 根 本 美 奈

事故種類	乗揚
発生日時	平成27年4月3日 15時10分ごろ
発生場所	香川県高松市男木島西岸 男木港一文字防波堤灯台から真方位011°1,100m付近 （概位 北緯34°25.8′ 東経134°03.3′）
事故の概要	漁船大安丸は、南西進中、男木島西岸の岩場に乗り揚げた。 大安丸は、船底部外板の破口等を生じた。
事故調査の経過	平成27年4月10日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 大安丸、19トン KA2-1608（漁船登録番号）、個人所有 19.04m (Lr) × 5.45m × 1.95m、FRP ディーゼル機関、515kW（動力漁船登録票による）、平成4年1月28日
乗組員等に関する情報	船長 男性 72歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 昭和51年1月29日 免許証交付日 平成23年8月8日 （平成28年11月7日まで有効）
死傷者等	なし
損傷	船体中央から後部にかけての船底部外板に破口を伴う凹損、プロペラ翼及びプロペラ軸の曲損等
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 東北東、風力 2、視界 良好 海象：潮汐 下げ潮の末期
事故の経過	本船は、船長ほか2人が乗り組み、平成27年4月3日10時30分ごろ高松市高松漁港を出港し、男木島北方沖で操業を行った後、15時00分ごろ揚網を終えて帰途につき、約20ノットの対地速力で男木島北西方沖を手動操舵により南西進した。 船長は、操舵室左舷側の舵輪後方の板に腰を掛けて操船中、操舵位置の左後方に置いていたタオルで手を拭いた際、足元に何か物が落ちたことに気付き、前路から目を離して顔を足元に向け、落とした物を

	<p>探し始めた。</p> <p>本船は、船長が、昼食後に服用した ‘薬が入ったケース’（以下「本件ケース」という。）が落ちているのを見付け、かがみ込んで本件ケースを拾い上げたのち、身体を起こして前方を見た時、目前に男木島西岸が見えたので、直ちに機関を後進にかけたが、15時10分ごろ男木島西岸の岩場に乗り揚げた。</p> <p>船長は、備讃瀬戸海上交通センターから問合せの電話を受け、本事故の発生を通報するとともに所属する漁業協同組合に救助の手配を要請した。</p> <p>本船は、来援した僚船によって引き下ろされたのち、えい航されて高松漁港に帰港した。</p> <p>（付図1 事故発生経過概略図、写真1 本船 参照）</p>
<p>その他の事項</p>	<p>本船の喫水は、船首約0.15m、船尾約1.50mであった。</p> <p>船長は、操舵室後部のテーブルで昼食をとった後、薬を服用し、腰を掛けていた板の右端に本件ケースを置いた。</p> <p>船長は、足元に何か物が落ちたことに気付いたとき、本船の針路を男木島西岸から目測で約300m離す針路としていたので、少しの間なら前路から目を離しても男木島西岸沖を安全に通過できるものと思い、落とした物を探し始めた。</p> <p>船長は、ふだん、本船の針路及び位置を、周囲の島などを見て目測で判断していた。</p> <p>船長は、ふだんから、本船の操舵装置は、操舵時の遊びが少ないと感じていた。</p>
<p>分析</p> <p>乗組員等の関与</p> <p>船体・機関等の関与</p> <p>気象・海象等の関与</p> <p>判明した事項の解析</p>	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>本船は、男木島北西方沖を南西進中、船長が、操舵室内に落ちた本件ケースを探そうとかがみ込み、前路の見張りを行っていなかったことから、本船が男木島西岸に向かう態勢となって航行していることに気付くのが遅れ、機関を後進にかけたものの、男木島西岸の岩場に乗り揚げたものと考えられる。</p> <p>船長は、男木島西岸から目測で約300m離す針路としていたので、少しの間なら前路から目を離しても男木島西岸沖を安全に通過できるものと思い、本件ケースを探そうとかがみ込んだものと考えられる。</p> <p>本船が左転を開始した状況については、明らかにすることができなかった。</p>
<p>原因</p>	<p>本事故は、本船が、男木島北西方沖を南西進中、船長が、操舵室内に落ちた本件ケースを探そうとかがみ込み、前路の見張りを行っ</p>

	ていなかったため、本船が男木島西岸に向かう態勢となって航行していることに気付くのが遅れ、機関を後進にかけたものの、男木島西岸の岩場に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・常時適切な見張りを行うこと。

付図1 事故発生経過概略図

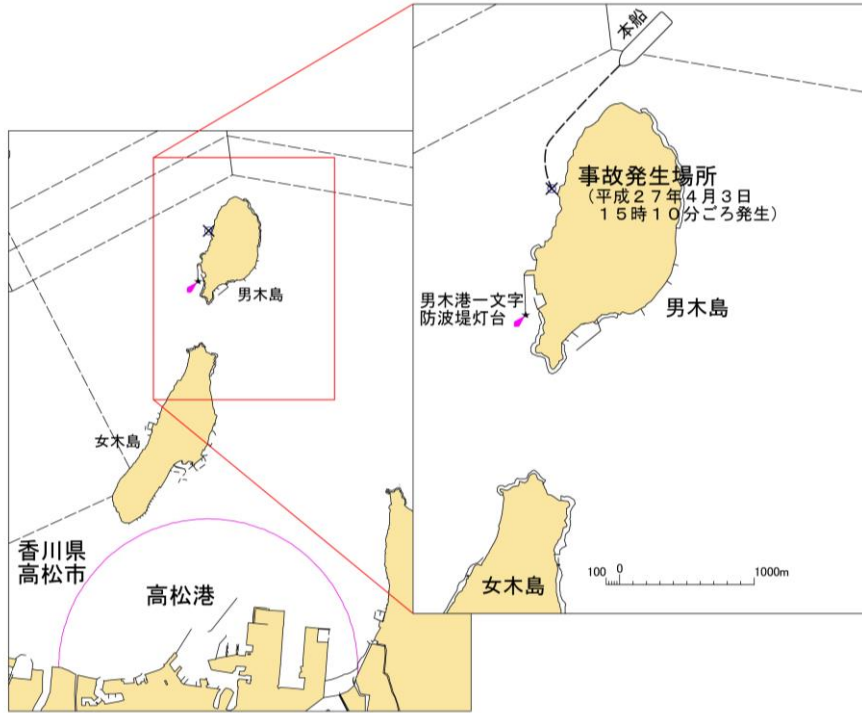


写真1 本船

